

2011年度 杉原チーム口頭発表

① 招待講演 (国内 10件、国際 3件)

〈国内〉

[A-1] 杉原厚吉, 「数理で解き明かすだまし絵の秘密」, 明治大学創立130周年記念自然科学系シンポジウム「自然を探り、社会を変える数理科学:現象数学の挑戦」, 明治大学駿河台キャンパス, 2011年12月17日.

[A-2] 杉原厚吉, 「計算錯覚学への招待」, CEDEC 2011 (Computer Entertainment Developers Conference 2011), 横浜みなとみらい, 2011年9月8日.

[A-3] 杉原厚吉, 「画像理解と不可能モーション錯視」, 日本心理学会大会ワークショップ, 日本大学, 2011年9月15日.

[A-4] 杉原厚吉, 「人は目に届く光をなぜ読み誤るのか—視覚から学ぶ脳の働き」, オプティカルソリューションカンファレンス2011～生体と光～(サイバネットシステム主催), アキバプラザ, 2011年10月14日.

[A-5] 杉原厚吉, 「ベスト錯覚コンテスト世界チャンピオンまでの道」, 映像情報メディア学会メディア工学シンポジウム, 秋葉原ダイビル, 2011年10月29日.

[A-6] 杉原厚吉, 「視覚メディアと錯視一人の目はどこまで正しくみられるか」, 錯視&SD研究会, 関東学院大学関内キャンパス, 2012年2月17日.

[A-7] 杉原厚吉, 「画像知覚と立体錯視～人はなぜ奥行きを読み取ることができるのか～」, 社会性知能発生学研究会, 2012年2月26日.

[A-8] 友枝明保, 招待講演「渋滞現象と数理モデリング:交通流の数理」, 明治大学大学院先端数理科学研究科 現象数学専攻 先端数理総合科目A, 明治大学, 2011年, 5月18日.

[A-9] 友枝明保, 招待講演「錯視現象の社会への積極的応用:Hollow face 錯視」, 京都駅前セミナー, キャンパスプラザ京都, 2012年, 1月26日.

[C-1] 山口 泰, 招待講演「視覚復号型暗号とハーフトーニング」, 明治大学大学院先端数理科学研究科 現象数学専攻 先端数理総合科目A, 明治大学, 2011年, 5月25日.

〈国際〉

[A-1] K. Sugihara, Why are Voronoi diagrams so fruitful in application?, Eighth International Symposium on Voronoi Diagrams in Science and Engineering, Qingdao, China, June 28-30, 2011, p. 14.

[A-2] Akiyasu Tomoeda, Invited Talk 「Jamology - Mathematical modeling and challenges to resolve jams」, 71th Seminar on Nonlinear Phenomena and Analysis (NPA Seminar), Kyushu University, Fukuoka, 2011/10/13.

[C-1] Haruaki Fukuda and Kasuhiro Ueda. “Contrast sensitivity function during perception of Benham-Fechner colour”. Perception 40 ECVF Abstract Supplement, pp.80. 2011. 2011. 8.28.

② 口頭講演 (国内 21 件、国際 2 件)

〈国内〉

[A-1] 杉原厚吉, 「反重力すべり台の設計法」, 日本オペレーションズリサーチ学会ワークショップ「娯楽のOR」, 甲南大学, 2011年9月16日, 日本オペレーションズリサーチ学会講演アブストラクト集, 2-K-11, pp. 380-381.

[A-2] 友枝明保, 「渋滞学への誘い: 渋滞を科学する」, N. L. P. M. Summer Seminar 2011, 南知多, 愛知, 2011年8月5日.

[A-3] 友枝明保, 「サグ部の自然渋滞緩和に向けて～錯視現象とその緩和策～」, 第4回錯覚ワークショップ「横断的錯覚科学は成立するか」, 明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン, 2012年3月13日.

[A-4] 中村裕美, 宮下芳明. 電気味覚を活用した飲食コミュニケーションの可能性, 情報処理学会研究報告, Vol. 2011-HCI-142 No. 11, 2011年5月27日.

[A-5] 宮下芳明, 太田佳敬. 時空間の近接性にとらわれない学会のデザイン, 情報処理学会研究報告, Vol. 2011-HCI-143 No. 6, 2011年5月27日.

[A-6] 山中祥太, 宮下芳明. 発言履歴編集機能がチャットに及ぼす影響の考察, 情報処理学会研究報告, Vol. 2011-HCI-143 No. 7, 2011年5月27日.

[A-7] 永瀬翔, 宮下芳明. 多人数協力型の速報プレゼンテーションツール, 情報処理学会研究報告, Vol.2010-HCI-144, No.8, 2011年7月28-29日.

[A-8] 山中祥太, 宮下芳明. 重なりあったウィンドウ間を移動可能なマウスカーソル操作手法の提案, 情報処理学会研究報告, Vol.2010-HCI-144, No.8, 2011年7月28-29日. (学生奨励賞)

[A-9] 中村美恵子, 宮下芳明. 金額の理解を促すインタラクシオンデザイン, 情報処理学会研究報告, Vol.2011-HCI-145 No.5, 2011年10月14日.

[A-10] 山中祥太, 宮下芳明. スイッチバックカーソル: 重なりあったウィンドウ間を移動可能なマウスカーソル操作手法, WISS2011, 第19回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ論文集, pp.66-71, 2011年12月1-3日.

[A-11] 中村裕美, 宮下芳明. 電気味覚の応用による食メディア開発, 信学技報, Vol.111, No.479, MVE2011-103, pp.49-54, 2012年3月12日.

[A-12] 山中祥太, 宮下芳明. コンテンツリストにおけるインタラクシオン手法の提案, 情報処理学会研究報告, Vol.2012-HCI-147 No.11, 2012年3月21-22日. (研究会貢献賞)

[A-13] 杉原厚吉, 「画像知覚のひずみと誇大広告の危険性」, 第4回錯覚ワークショップ - 横断的錯覚科学は成立するか-, 明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン, 2012年3月14日.

[A-14] 宮下芳明, 「錯覚は聴覚コンテンツ・味覚コンテンツに応用できるか?」, 第4回錯覚ワークショップ - 横断的錯覚科学は成立するか-, 明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン, 2012年3月13日.

[B-1] 新井仁之, 数学的方法による視知覚と錯覚の研究, I, II, NSC 特別講演会, 北海道大学電子科学研究所, 2011年8月.

[B-2] 北岡明佳, 「計算可能な錯視の探索的検討」, 第4回錯覚ワークショップ - 横断的錯覚科学は成立するか-, 明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン, 2012年3月14日.

[C-1] 山口 泰. 自然画像のための視覚復号型暗号の一手法, 情報処理学会研究報告, 2011-CG-144, No.6, pp.1-8, 2011. 2011.9.4

[C-2] 山田 歩, 福田玄明, 鮫島和行, 清河幸子, 南條貴紀, 植田一博, 野場重都, 鰐川彰. テイスティング方法がコーラの選好に与える影響, 行動経済学会第 5 回大会予稿集, 2011. 2011.12.10

[C-3] 山口泰, 「視覚復号型暗号 — 画像が見える暗号」, 第 4 回錯覚ワークショップ -横断的錯覚科学は成立するか-, 明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン, 2012 年 3 月 13 日.

[C-4] 植田一博, 「経済的活動に対する認知バイアスと知識の影響」, 第 4 回錯覚ワークショップ -横断的錯覚科学は成立するか-, 明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン, 2012 年 3 月 13 日.

[C-5] 福田玄明, 「社会的知覚における錯覚 — 生き物らしさ, 人らしさの知覚 —」, 第 4 回錯覚ワークショップ -横断的錯覚科学は成立するか-, 明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン, 2012 年 3 月 14 日.

〈国際〉

[A-1] K. Sugihara, Rescue boat Voronoi diagrams for inhomogeneous anisotropic, and time-varying distances, Eighth International Symposium on Voronoi Diagrams in Science and Engineering, Qingdao, China, June 28-30, 2011, pp. 91-97.

*[A-2] K. Sugihara, Computer-Aided Generation of Triply-Crossing Tile Patterns, 28th European Workshop on Computational Geometry, Assisi, Italy, March 19-21, 2012.

③ ポスター発表 (国内 29 件、国際 1 件)

〈国内〉

[A-1] 友枝明保, 「道路傾斜の錯視制御から渋滞緩和へ」, JST CREST 「数学と諸分野の協働によるブレークスルーの探索」領域 第 2 回領域シンポジウム, アキバプラザ, 秋葉原, 東京, 2011 年 9 月 7 日

[A-2] 中村美恵子, 宮下芳明. CatchyAccount2: 金額の知覚的解釈による家計簿, 第 10 回 NICOGRAPH 春季大会, 2011 年 6 月 10-11 日. 最優秀ポスター賞

[A-3] 吉川祐輔, 宮下芳明. 不可能立体の拡張現実感表現, 第 10 回 NICOGRAPH 春季大会, 2011 年 6 月 10-11 日.

[A-4] 中橋雅弘, 宮下芳明. File Based Programming ファイルを用いた新たなプログラミング手法の提案, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 58-60, 2011 年 10 月 7 日-9 日.

[A-5] 井川洋平, 宮下芳明. 組み換え可能な AR マーカの提案, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 218-221, 2011 年 10 月 7 日-9 日.

[A-6] 吉田有花, 宮下芳明. ノリ乗り一観客のノリを動画に乗せて疑似ライブ感を共有するシステムの提案, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 232-234, 2011 年 10 月 7 日-9 日.

[A-7] 榎原絵里, 宮下芳明. ヴァイオリン初心者のための無音運指練習支援システム, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 235-237, 2011 年 10 月 7 日-9 日.

[A-8] 松野祐典, 宮下芳明. LayEditor: レイヤ機能を用いたテキストエディタ, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 238-240, 2011 年 10 月 7 日-9 日.

[A-9] 嶋本諒太, 宮下芳明. 複数のスマートフォンを用いた多人数による動画編集システムの提案, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 383-386, 2011 年 10 月 7 日-9 日.

[A-10] 嶋屋友佳, 宮下芳明. アニメーションの手描き N 次創作支援システム, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 387-389, 2011 年 10 月 7 日-9 日.

[A-11] 青木惇季, 宮下芳明. 複数時間軸を用いたコンテンツ制作環境, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 390-391, 2011 年 10 月 7 日-9 日.

[A-12] 前田晴己, 栗原一貴, 宮下芳明. 発表者がスクリーン前に立つプレゼンテーションスタイルの提案, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 431-434, 2011 年 10 月 7 日-9 日. 展示発表賞

[A-13] 矢田裕基, 栗原一貴, 宮下芳明. スライドの分割・統合による柔軟なプレゼンテーションツールの提案, エンタテインメントコンピューティング 2011 予稿集, pp. 435-438,

2011年10月7日-9日.

[A-14] 前田 晴己, 黒澤 祐也, 栗原 一貴, 宮下 芳明. MAEDE: スクリーン前でのプレゼンテーションスタイル, WISS2011, 第19回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ論文集, pp. 164-166, 2011年12月1日-3日.

[A-15] 瀬戸優之, 宮下芳明. 例示による携帯プログラミングの拡張, WISS2011, 第19回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ論文集, pp. 167-169, 2011年12月1日-3日.

[A-16] 矢田 裕基, 栗原 一貴, 宮下 芳明. 自動でスライドを分割・統合して時間を調整するプレゼンテーションツール, WISS2011, 第19回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ論文集, pp. 173-175, 2011年12月1日-3日.

[A-17] 中村 美恵子, 宮下 芳明. 金額を実感する入力手法の提案, WISS2011, 第19回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ論文集, pp. 176-178, 2011年12月1日-3日.

[A-18] 嶋本 諒太, 宮下 芳明. えあわせ: テーブルに並べたスマートフォンによる動画編集, WISS2011, 第19回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ論文集, pp. 189-191, 2011年12月1日-3日.

[A-19] 永瀬 翔, 栗原 一貴, 宮下 芳明. チームプレゼン!, WISS2011, 第19回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ論文集, pp. 221-223, 2011年12月1日-3日.

[A-20] 太田佳敬, 宮下芳明. 2つの学会を同時視聴するシステム, WISS2011, WISS Challenge, 2011年12月1日-3日.

[A-21] 吉田有花, 宮下芳明. ノリ乗り♪, WISS2011, WISS Challenge, 2011年12月1日-3日.

[A-22] 栗原一貴, 松野祐典, 宮下芳明. WISS Gazer, WISS2011, WISS Challenge, 2011年12月1日-3日.

[A-23] 中村美恵子, 宮下芳明. 家計簿を「思考の道具」とするインタラクシオンデザイン,

インタラクシオン 2012 論文集, pp. 325-330, 2012 年 3 月 15 日-17 日.

[A-24] 太田佳敬, 宮下芳明. 2つの学会発表録画を同時視聴するためのシステム, インタラクシオン 2012 論文集, pp. 427-432, 2012 年 3 月 15 日-17 日.

[A-25] 清水和晃, 宮下芳明. ToolBaCo: 提示型の情報共有コミュニティ, インタラクシオン 2012 論文集, pp. 497-432, 2012 年 3 月 15 日-17 日.

[A-26] 吉田有花, 宮下芳明. 身体動作の重畳表示による動画上での一体感共有, インタラクシオン 2012 論文集, pp. 527-532, 2012 年 3 月 15 日-17 日.

[A-27] 松野祐典, 栗原一貴, 宮下芳明. 動画共有サイトでの視線共有の試み, インタラクシオン 2012 論文集, pp. 611-616, 2012 年 3 月 15 日-17 日.

[A-28] 中村裕美, 宮下芳明. 映画鑑賞と飲食行為の連動, インタラクシオン 2012 論文集, pp. 689-694, 2012 年 3 月 15 日-17 日.

[A-29] 吉川祐輔, 宮下芳明. 複数の画像バッファを組み合わせることによる拡張現実感上での錯覚表現, インタラクティブ 2012 論文集, pp. 777-782, 2012 年 3 月 15 日-17 日. インタラクティブ論文賞ファイナリスト

〈国際〉

1. 発表者、タイトル、学会名、場所、月日

[A-1] Hiromi Nakamura, Homei Miyashita. Communication by Change in Taste, CHI2011 Conference Proceedings and Extended Abstracts, The 29th Annual CHI Conference on Human Factors in Computing Systems, 2011 年 5 月 7 日-12 日.